

2年生瑞陵総合大学

令和5年11月8日(水) 7限

2年生を対象に、大学教授による模擬講義「瑞陵総合大学」を開催しました。全部で11講座あり、生徒達は、大学で学ぶ意義や、各学問分野での研究内容への理解を深めるとともに、他の学問分野や社会とどう関わるのかなど、幅広い視点で物事を捉えるきっかけにすることができたようです。生徒の目的意識を啓発する、大変良い機会となりました。

1 講座 心理学



生徒感想

- ・心理学とは日常で起こる様々な事柄について仮説をたくさん立てて「なぜ」という視点を大切に科学的な根拠を持って筋道を立てて結果を出す学問であることがわかった。
- ・数学の統計学も特に必要となってくるなど、心理学のリアルを知れてよかった。「なぜ？」を追究する習慣を身に付ける必要性を感じた。
- ・心理学が会社の経営やマーケティングなど多方面で活躍できる学問だと思った。心理的側面をもとに新しいアイデアが出ると大きなビジネスチャンスになるかもと感じた。
- ・本来心理学とは「理系の学問」だということに驚き。統計を利用することで仮説が立証できること、これが心理学の本質であることを知れてためになった。「心理学＝哲学者に学び、人間の行動心理を考える」ではないことを知れたことが一番の収穫。
- ・心理学とは人の心を推測したり、寄り添ったりするといったイメージだったが覆された。福祉分野に興味があるが、心理学単体だと仮説を立てたり、実験したりといった「理学」の色が強い学問であると知って、自分を学びたいことを考えたときに「もう少し実践的なところが学びたいかも」と自分の考えを整理することができた。

2 講座 経済学



生徒感想

- ・1番印象に残ったのは、ソマティックマーカー仮説です。意思決定の効率性が感情で高められるというのは、自分自身にも当てはまることだと感じました。
- ・経済理論の話の聞いたりすると、すべて合理的に世の中がまわる訳ではないから、完全に納得して理解することができなかったのですが、そこに心理的バイアスを加えて行動経済学となることで心理的に理解できた部分が大きかったです。
- ・人間は、「感情が追い付かなければ、どれだけ論理的に説明されても納得できない」という点が最も心に残りました。どうしても理解してくれない相手に対して、自分は理詰めに近いことをしているのではないかと考えさせられました。
- ・人の利己心の特性によって協調性のあるコミュニティの形成ができ、協調戦略には普遍性の高い目標を共有することが大切であるという話は、自分たちの日常生活や部活動でも生かすことができると感じました。

3 講座 法学



生徒感想

- ・法学とはどのような学問なのかを一部でも知ることができました。議論を重ね、「正しいこと」を追及し、知識を学ぶ法学はとても魅力的な学問だと思いました。
- ・講義の中で印象に残ったのは、法学では「答え」がないこと、「知恵は対話によって獲得されること」です。自分の進路選択においても改めて見つめることができました。
- ・法学とは、正義に関する学問で、正義とは必要な人に必要なものを与えることだ、ということが印象に残りました。法学の詳しい内容や議論の大切などについて思考し、多くの学びがありました。
- ・私は国の仕組み、政治、法律に興味があり、法学部が第一志望です。今日の講義を聴いて、法の正しさを追及していく感覚がとても興味深く、もっと知りたいと思いました。進路を考える上でも参考にしようと思います。

4 講座 教育学



生徒感想

- To be or not to be の意味が最初分からなかったが、それぞれの単語の意味を考えると訳が見えてきて、英語は面白いと感じた。一般化すると「このままで良いのか、良くないのか」という解釈になるが、今後未来を見据え進路を考える際に、生きてくる言葉だと思う。
- ポローニアス的教育がとても興味深く、「彼の言っていることは的を得ていて人生に教訓にはなるけれど、その助言に従ったところで、自分の目標が見つかるわけでも、何のために生きるかという問いの解決にはならない」、という考え方は納得できる。
- 先生にたくさん話しかけられた、一番前の子です！！ 先生の授業、高校の先生の 500 倍面白いし分かりやすく、いつもなら寝てしまうのに完璧に起きて話を聞くことができました！！

5 講座 薬学



生徒感想

- ・「薬学」については、難しいイメージとともに面白そうだなという興味があったので、今回、講義を受けさせてもらいました。そもそも大学の授業のようなものを受けるのは初めてでしたが、雑談を交えたお話をしてくださる先生で、楽しみながら、薬のことを学ぶことができました。
- ・私はまだ、将来やりたいことが決まっていません。しかし、今回の講義を通して、仕事の中にも“やりたい”が隠れているということを知りました。先生が小児科医の仕事をしながらやりたい研究を見つけたように、実際の仕事からもやりたいが見つかるということを知りました。
- ・とても分かりやすく、「クスッ」と笑えるような講演のおかげで、研究職とはどのようなものかを知ることができました。同時に、人生は選択の連続であり、あきらめなければ、パチンコのように当たることがあるということ学びました。いろいろな人が研究しているニューロンではなく、脇役細胞と呼ばれる、あまり研究がされていない細胞に焦点を当てたことに興味を持ちました。

6 講座 保健学



生徒感想

- ・自分自身が興味を持った職に就くのが一番良いなと思いました。講義を聞いて、みんなの役に立てる仕事だと分かり、すごく素敵なお仕事だと思いました。また、色々なことを知って職の幅を広げていけるように頑張ります。
- ・理学療法士は病院でリハビリしてくれる人というイメージでしたが、アスリートをサポートしたり、看護の場で活躍したりと働く場所が沢山あり驚きました。
- ・「資格を取る」だけを目指にするならどんな学校でもいいけど、可能性を広げるために $+\alpha$ のことを大切にしてほしいとおっしゃっていて、今まで保健学科は専攻が細かく分かれていて、専門性が高いというイメージがあったので、自分で可能性を広げていくことの重要さに気づくことができました。ただ単に理学療法の知識があるだけではだめだと分かったので、これからはもっと多方面に興味をもって自分から調べたり、進路についてもっと自主的に調べていきたいと思った。
- ・名古屋大学も含めた総合大学の魅力も聞くことができ、進路に悩む身として貴重な話を聞くことができよかったです。
- ・「人の命に近いところで働くには責任感が必要」という言葉が私の中で一番心に残りました。自分の夢に近道するなら専門学校、また夢を広げたいなら大学に行くべきであるのではないかという意見を聞いて、これからの進路の選択に役立てていきたいと思いました。
- ・保健学に興味があったので、詳しく知ることができてとてもいい機会になりました。医療従事者と聞くと、パッと思いつくのは医者や看護師だったけど、実際はたくさんの職業があり、様々な立場から医療に関わることができること知り、選択肢が広がりました。

7 講座 理学



生徒感想

- ・ヒトの細胞はたった1つから何にでもなれる、そしてそれは一方通行であることは決してない。これは人間が何にでもなれることと同じだ、と聞き、私たちの人生と私たちの細胞をつなげて考えることができることにとても驚きました。
- ・これまで私は、大学では教授が研究のついでに学生を教えているイメージでしたが、「大学では自分の成長のために先生を使いなさい」という言葉に驚きました。「すべては自分の成長のために」と考えたら勉強への意欲も高いままでいられるのだろうか、と思いました。
- ・まだ将来の夢は決まっていませんが、「何にでもなれるうちはまだ何者でもない」という言葉が心に残ったので、ゆっくり選んでいきます。今は、ただ科学が好き、という自分の好きなことを大切にしたいです。
- ・ワクチン開発の話聞き、今その場では役に立たないかもしれない研究が、数十年後に世界的に役に立つ知識として返ってくることにびっくりした。私は学校で勉強している中で難しい問題に気を取られていることが多いが、基礎と応用で優劣をつけるべきではないことが今回の講演でよくわかった。
- ・「予想を超える結果こそサイエンスの醍醐味」という言葉が僕自身目指している「研究」に通じることだと思った。理学では専門のベースになっていて、それをアクティブラーニングによって養えると知り、自分もその力をつけていきたいと思った。

8講座 工学



生徒感想

- ・講義を通してモノづくりのポイントを知ることができ、進路を決めるうえでの指針となりました。自分は将来、宇宙開発に携わるエンジニアになって、ロケットや衛星を開発したいです。貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。
- ・「製品はどのユーザに対しても同じでなくてはならず、ばらつきや不具合があってはならない」点が印象に残った。私は今までそのことを当たり前とっていたが、モノを作る側には多くの工夫と努力、覚悟が必要であることが分かった。
- ・ユーザの求める機能は様々な物理量に分解して考え、個別の部品や素材に落とし込むという話を聞き、今高校で習っている物理や化学の知識もモノづくりに大切だと思い、より一層勉強へのやる気が出ました。
- ・気付いたら50分終わっていて、とても内容が面白く、楽しめました。工学部が具体的にどういふことをするのか知ることができてよかったです。モノづくりでは「熱い、冷たい」などの感覚ではなく、物理量など具体的な数値で表していくのがかっこいいと思いました。今回の講義の内容を参考に、これからの進路を考えたいです。
- ・モノづくりの道に進みたいと思っていましたが、さらに興味が湧きました。今後はAIなどの技術も進んで人ができることも変わってくると思うけれど、ユーザのことを一番に考えてモノづくりをする意識はずっと持っておきたいと思いました。
- ・アイデアは「型にはまらずに考える」と聞きますが、モノづくりは「型にはめる」ことが大事であると知り、驚いた。製品の質に差ができてはだめという理由や、どのユーザにも同じ 99.7%以上の精度で製品化しなければだめという理由があると聞いて納得しました。今回の講演を聞き、自分の進路をもっと細かく決めていきます！

9 講座 農学



生徒感想

- ・「植物が花を咲かせるタイミングを決めることは、自分が死ぬタイミングを決めることでもある」という言葉が印象に残った。美しい花を咲かせることが同時に美しく散っていくことでもあることが儚くて面白いなと思いました。
- ・私は理学部か農学部か迷っていて、やりたいこともあまり無いので不安でしたが、先生の「やりたいことが無くても大丈夫。大学には皆さんをサポートする仕組みがある」という言葉で不安が和らいだ。
- ・植物の不死性や、個体差の無さを生み出す茎頂メリステムや、フロリゲン活性化複合体の不思議な構造を学ぶことができとても面白かったです。特にフロリゲン活性化複合体がDNAと結合して働くのが、まるで小さな機械みたいで、それが自然の中で作られたと思うととてもワクワクしました。
- ・フロリゲンを活用した「花咲かじいさんの灰」の仕組みを聞いてとても驚いた。茎頂メリステムまで届けるために細胞膜を透過するタンパク質を用いて花を咲かせることに成功しただけでなく、その仕組みを用いて逆にフロリゲンを抑制させてトマトの収穫量を増やすという社会貢献までしていて、とても感動した。
- ・先生の「(大学は今後の人生を考えていくうえの)補助線」という最後の言葉がとても印象に残った。自分は生物が好きなので、今回の話を活かして進路を決めていきたいと思った。

10 講座 栄養学



生徒感想

- ・低栄養によって、卵巣機能が低下したり、低体重児のリスクが高まるということを初めて知った。
- ・どのようにすれば、エネルギー量を抑えて、栄養をとるかということが分かった。
- ・栄養士は老人ホームや医療機関だけでなく、学校やスポーツ、ビジネスなどの幅広く活躍することのできる職業だと知り、興味深かった。
- ・食は人が生きる上で欠かせないものなので、食について、しっかりと学び、これからの学習や生活で活かしていきたい。
- ・エネルギー調節だけでなく、美味しく、楽しく食べることが大切だということを学んだ。
- ・エネルギー摂取量とエネルギー消費量をバランスよく摂取することが大切で、生命を維持するために、食事をしっかり食べる必要があるという言葉が印象的であった。
- ・ダイエットのし過ぎはよくないと思った。
- ・大学の授業内容、管理栄養士がどこで働いていて、どんな仕事をしているか、そして、少しの工夫でエネルギーがどれだけ変わるのかがわかりました。
- ・二つの似た食事を並べて、何が変わっているのかを考えるのが楽しく、また、たんぱく質の量をあまり減らさずに作れることに驚きました。

1 1 講座 情報学



生徒感想

- ・まず情報の概念とは送り手、媒体(メディア)、受け手、という 3 要素であり、情報学は様々な分野とつながりを持つ奥深い学問であることが分かった。
- ・講師の「触覚を用いたコミュニケーション」については、始まったばかりの研究ゆえ、とても興味深かった。
- ・講師の「40Hz の謎」について、将来自分の研究対象としてアリだなと思った。
- ・情報の概念そのものを身近に感じられた。植物のように脳を持たない生命体でも、周りの環境を感知して自らを守っていることが情報からわかることに驚いた。こういう情報を「触譜」のような視覚化するアプローチは自分にとって新鮮であった。
- ・「触覚」を記録するのに、強さや時間を用いることまでは予想できたが、「硬さ」、「粗さ」のような概念を「触譜」に落とし込むことも新たな視点であるように感じた。
- ・顔の表情から最適な音楽を AI に選択させることや、「40Hz 神話」について音響物理学的視点から調べてみたくなった。